

第16回 たんぽぽ子育て講演会



「子どもにとって楽しい 学校って、どんなもの？」

—ジャーナリストが不登校と
学校の現実から考えたこと—

講師 平館 英明さん

【著書】「死活ライン 『美しい国』の現実(リアル)」(株)金曜日
「教育を、取り戻す『壊憲』教育に抗う人々」(株)金曜日



去る10月末文科省から昨年度の不登校小中学校児童生徒の統計が発表されました。35万3970人にものぼり、12年連続して最多です。10年前と比べると小学生は5・5倍、中学生は2・2倍になります。

小中学生の自死者も政府白書によると529人となり最悪の状態です。ますます学校が子どもたちにとって辛い場になっている深刻な状況がひしひしと伝わります。

今回は、子ども、保護者など現場にこだわる取材から不登校や学校の問題に迫ろうと奮闘されている「ジャーナリスト平館 英明さん」のお話です。学校は子どもにとってどんな場所になると楽しいのか、生き生きと生活するために先生や保護者などはどんな視点が大事かなどをお話しします。

講演後に不登校等で悩む保護者の方や教職員・地域の方たちと一緒に考える交流会を持ちます。ぜひ、お気軽にご参加ください。

日時 2026年2月14日(土)

14:00～16:30 開場 13:30

場所 鶴見公会堂 第1・2号会議室

横浜市鶴見区豊岡町2-1フーガIビル西友6F

資料代 ¥500

申し込み 2月12日(木)まで

お名前、電話番号を明記し、
下記のメール、またはQRコードで
申し込みお願いします。

申し込みQRコード



info@freespace-tanpopo.com

【当日のスケジュール予定】

- 講演後に当事者の声
- ① フリースペースたんぽぽの卒業生から
- ② フリースペースたんぽぽ保護者から
- ③ 学校現場の教職員から
- その後にグループに分かれて交流をします



《主催》 NPO法人子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ

《共催》 神奈川県立青少年センター 【令和7年度ひきこもり等地域理解促進事業】

《たんぽぽ連絡先》 TEL/045-834-7970 mail : info@freespace-tanpopo.com

たんぽぽHP



【 講師 平館 英明さんのご紹介 】

►1964年福島県生まれ。

業界専門誌の出版社勤務を経て、2001年以降フリージャーナリスト。

おもに教育や労働現場を中心に、保育、医療、介護、生活保護、郵政、自死・遺族、ギャンブル依存症など身近な社会問題をテーマに取材している。

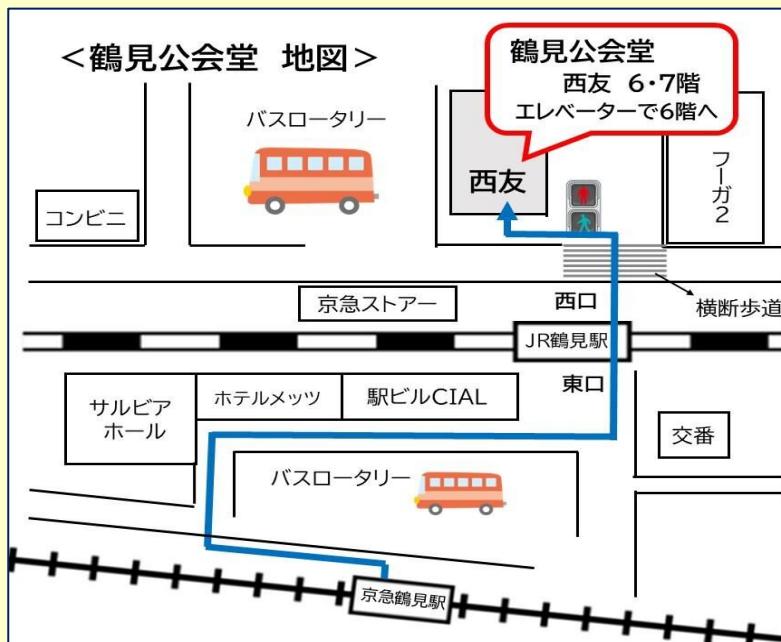
最近は、不登校や学校の問題を取り、『週刊金曜日』では「子どもも大人も『学校が苦しい』不登校41万人 教師休職7000人の現実」というテーマでレポートを執筆した。



「学校は子どもから見放されているー。ある教師の言葉である。

・・・不登校の増加は旧態依然の学校に『NO』を突き付けている。
そして、学校をめぐっては、大人も苦しんでいる。」

(上記、記事から抜粋)



【会場案内】 鶴見公会堂 地図

〒230-0062
横浜市鶴見区豊岡町2-1 フーガ1 6・7階

JR鶴見駅西口改札から徒歩2分
京急鶴見駅から徒歩5分

★鶴見駅西口2階改札口から
階段を下りずに、歩行者用デッキを通り、
西友2階からエレベーターに
乗ることができます。

小冊子刊行中



公式SNS配信中



子どもの権利条約について

不登校経験者の声



Instagram



facebook



X

